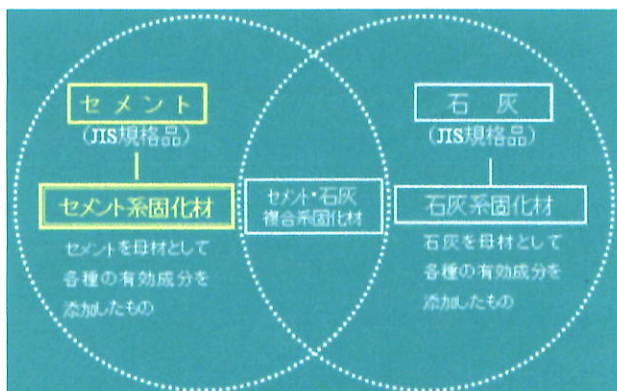


セメント系固化材とは

従来の石灰やセメント等では固化させにくい土質や現場の条件に対応するために開発され、下図に示すように位置づけられます

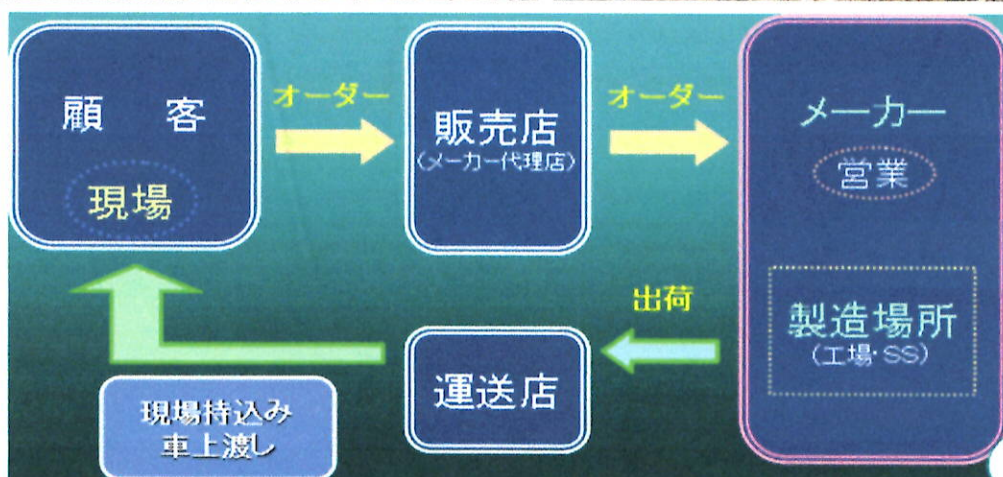


日本石灰協会では、生石灰を50%以上含む材料を「石灰系」に分類しています。

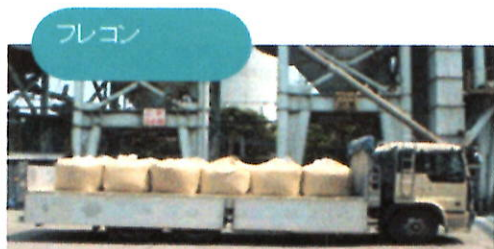
セメント系固化材はセメントを母材に複数の有効成分を添加したもので、幅広い土質において長期に亘って安定した強度が得られます。石灰系固化材は、石灰を母材に複数の有効成分を添加したもので、発熱・蒸発が起きることから主に極短期間に軟弱土の物性改善を目的とした改良（残土や泥土の処理）等に用いられます。

100%生石灰の主な使用用途はヘドロ状の土を搬出する時そのままダンプ車に積みえない為、生石灰を加える事で発熱反応が早くヘドロ状の土に含まれている水分が蒸発をして、ダンプ車に積むことが可能になり搬出が出来る。

種類	適用
一般軟弱土用	汎用品 軟弱地盤（砂質土、粘性土、ヘドロ など）
特殊土用	六価クロム溶出抑制
高有機質土用	腐食物を多く含む土
発塵抑制型	散布、施工時の発塵抑制

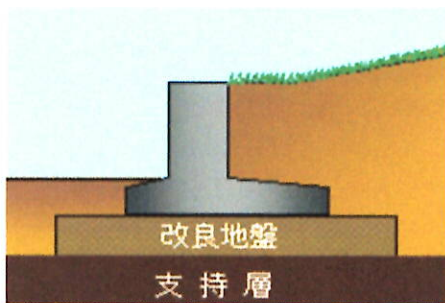
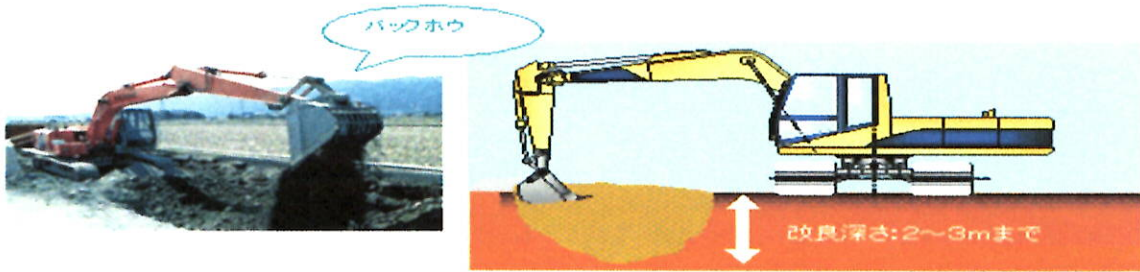


セメント系
固化材の荷姿

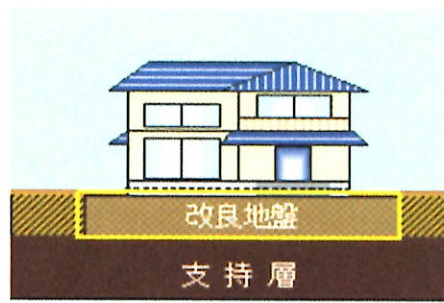


主な仕様用途

浅層改良

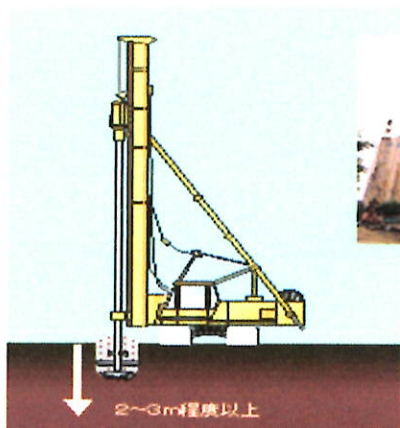
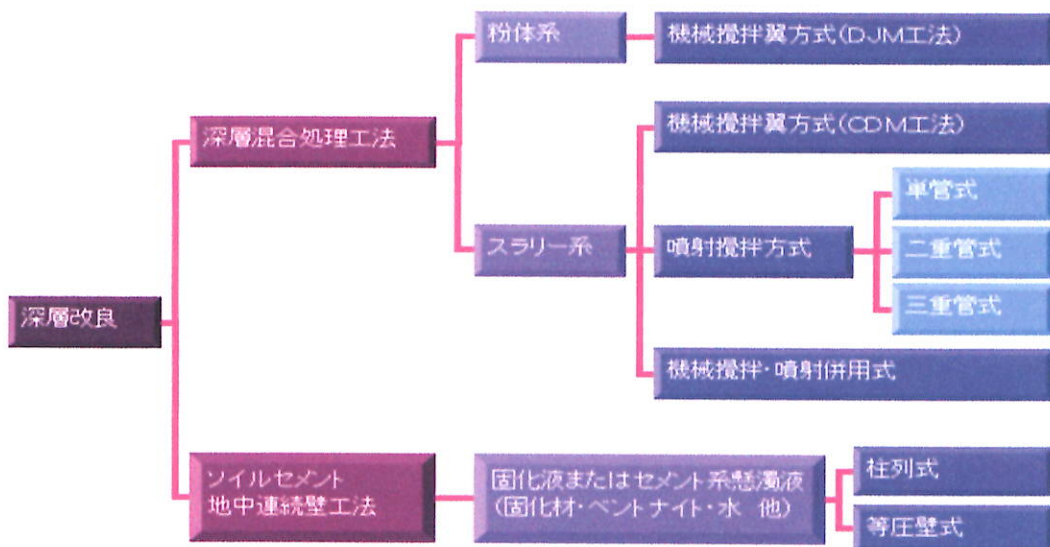


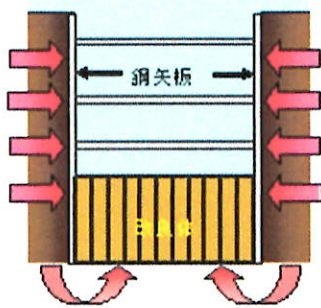
擁壁基礎地盤



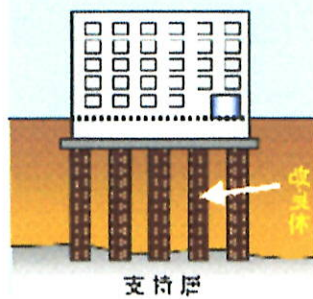
建屋基礎地盤

深層改良

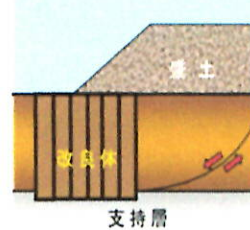




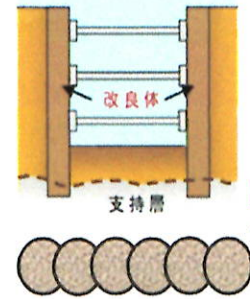
掘削底盤のヒートアップ
ボイラの防止



構造物基礎地盤



盛土基礎地盤
(すべり防止)



地中連続壁
(土留め・止水)

ヘドロの固化処理



セメント系固化材需要推移

(単位: t)

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
北海道	132,420	135,337	145,356	132,357	157,450	102,241	130,584	143,795	159,400	114,545	119,000
東北	525,586	566,681	510,073	523,683	440,863	480,142	650,158	907,895	961,603	1,031,276	922,858
関東	2,049,340	2,265,918	2,074,420	2,306,630	1,977,380	2,082,635	2,217,946	2,362,230	2,681,036	2,532,509	2,280,811
北陸	682,322	721,230	683,789	706,917	653,637	637,725	671,757	672,102	751,286	720,278	647,039
東海	950,268	1,136,703	1,093,617	1,233,609	972,716	976,254	988,178	995,433	1,110,215	1,074,114	1,109,060
近畿	1,003,969	1,013,249	1,018,672	1,031,723	945,669	969,363	983,652	970,700	1,137,553	1,100,670	1,116,711
四国	131,731	100,711	103,821	86,958	88,727	85,970	105,789	110,122	99,789	99,912	121,801
中国	283,686	348,925	352,588	339,971	274,413	268,332	318,586	317,886	349,432	360,780	361,147
九州・沖縄	516,475	563,556	555,714	524,446	478,727	506,116	504,665	543,752	683,587	675,911	659,216
計	6,275,797	6,852,310	6,538,050	6,886,294	5,989,582	6,108,778	6,571,315	7,023,915	7,933,901	7,709,995	7,337,643
特殊土用	1,363,761	1,714,338	1,891,202	2,377,199	2,805,593	3,248,131	3,680,026	4,197,803	4,895,205	4,953,111	4,806,643

* 特殊土用のデータは全体需要の内数

